

# 男子ホッケー日本代表チーム ワールドリーグ セミファイナル

日付	2015年6月9日 16:00~17:30		
場所	アルゼンチン・ブエノスアイレス	天候	曇り
試合	第4戦	通算結果	日本 1勝3敗

## RESULT

Country

**日本**

**JAPAN**

Final **1 - 3**

Third Period **1 - 2**

Half-time **1 - 1**

First Period **1 - 1**

Country

**オランダ**

**NETHERLANDS**

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	高瀬克也 (GK)			
✓	3	粥川幸司			
✓	5	塩川直人			
✓	6	三谷元騎			
✓	7	小野知則 (C)			
✓	8	北里謙治			
4	9	藤本一平			
✓	11	川上啓			
✓	14	長澤克好			
✓	15	山下学			
6	18	膳棚大剛			
✓	19	田中健太			
	23	坂本博紀			
3	25	和久利裕貴			
✓	26	村田和麻			
4	28	星卓			
	31	新本優 (GK)			
4	32	橘敏郎			
Coach		姜建旭			
Manager		寺本祐治			
UMPIRE		SCALA Maximiliano (ARG)			

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	STOCKMANN Jaap (GK)			
✓	3	van der LINDEN Floris			
4	6	SCHUURMAN Glenn			
✓	8	BAKKER Billy			
5	9	van ASS Seve			
3	10	VERGA Valentin			
✓	11	HERTZBERGER Jeroen			
✓	12	de WIJN Sander			
✓	13	BAART Sander			
✓	14	KEMPERMAN Robbert			
5	19	de VOOGD Bob			
3	20	GALEMA Jelle			
4	21	van der SCHOOT			
✓	22	HOFMAN Rogier			
✓	24	van der HORST Robert (C)			
	26	BLAAK Pirmin (GK)			
✓	27	JONKER Constantijn			
✓	30	van der WEERDEN Mink			
Coach		CALDAS Max			
Manager		TEEUWISSE Mark			
UMPIRE		LIM Hong Zhen (SIN)			

Team	Minute	Name	Action	Score
NED	1	BAKKER Billy	FG	0-1
JPN	6	橘敏郎	FG	1-1

Team	Minute	Name	Action	Score
NED	42	BAKKER Billy	FG	1-2
NED	49	van der WEERDEN Mink	PC	1-3

ワールドリーグセミファイナル第4戦、プールマッチ最終戦は世界ランキング2位オランダとの対戦である。日本は第3戦GK新本から高瀬に代えた先発メンバーで臨んだ。

(第1クォーター) 試合開始早々1分オランダにサークル中央からのドリブル突破を許し、先制点を奪われてしまう。しかし日本は6分、中盤での素早いリスタートを仕掛け、レフトからのサークルインに成功するとPCを取得。このPCのボールは一旦後ろに流れてしまうが、村田がサークル内の橋にパスを送ると、橋はゴール右下に鮮やかなヒットシュートを決め、日本は同点に追いつく。その後8分にも日本はカウンターからPCを取得するが、橋のドラッグフリックシュートは僅かにゴール右に逸れ得点ならず。第1クォーター終了間際には、オランダにPCを奪われてしまうが、GK高瀬のセーブで追加点を与えない。日本はこのPCからのカウンター攻撃で、最後は田中が敵陣23m付近からサークルインし、リバースシュートを放つがゴールの枠を捉えきれない。

(第2クォーター) 日本は17分自陣での素早いボールチェックから小野がボールを奪うと、北里からサークル中央へ走り込んだ三谷にパスが渡り、シュートを放つが惜しくもGKにセーブされてしまう。日本は更に20分、敵陣ライト23m付近で村田が巧みなトラップで相手をかまし、サークルインから中央へパスを流すが、ラストパスが合わない。前半日本はオランダの攻撃を僅かシュート1本に抑える守備を披露した。また攻撃に於いてはカウンターを軸としながらも、ボールポジションもきっちりと行い、互角以上の内容で試合は後半へ。

(第3クォーター) 開始直後、オランダのスクープの処理ミスから田中がシュートを放つがGKにセーブされる。その後は前半同様、両者一歩も引かない白熱した攻防が続く。しかし42分オランダはレフトからクロスパスを打ち込むと、GK高瀬の弾いたボールのこぼれ球を押し込み2点目を挙げる。

(第4クォーター) オランダは49分サークル中央からのドリブル突破でPCを取得。このPCのドラッグフリックシュートをゴール右上に決め、2点のリードを奪う。その後も両者の攻防が続くが、得点はなくこのまま1-3で試合終了となった。

この試合の結果、次戦はベスト4入りを賭けて地元アルゼンチンと戦うこととなった。

日本	7	シュート数	7	オランダ
	2	PC数	2	

次戦(準々決勝戦) 6月11日 20:00 ~ 日本対アルゼンチン

記載責任者: 男子コーチ 藤原 信幸